

日時・場所：令和3年3月8日（月）13時30分～15時15分 評議会室
出席者：廣川理事長、青木副理事長、山根理事、倉茂理事、高橋理事、
大日委員、小倉委員、木村委員、北川委員、築山委員、山崎委員
欠席者：北川委員
事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長、
塚本参事、西山課長補佐、岡主任主事

議事に先立ち、委員および事務局職員の自己紹介があった。

また、補正予算については、書面により承認を得たことについて報告があり、議事録についても原案のとおり承認された。

【審議事項】

（1）令和3年度計画（案）について

小椋経営企画課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

〔主な質疑・意見等〕

- ・国際通用性の具体性がないと思う。次回の計画では学生たちが海外に行き、大学間の連携や交流ができるような具体的な計画を検討していただきたい。
→第三期中期計画では、学生の30%が海外経験を積むことを目標としている。また、今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で海外での活動がかなり制限されたが、WEBを活用した研究発表を行うなど、海外交流の機会を学生に提供している。加えて、英語の教育についてもかなり改善がなされている。
- ・人事評価制度の給与への反映については、事務職員は、人事評価制度がすでにあり、令和3年度から給与に反映するという事か。一方で教員については、業績評価自体を行っていないのか。
→事務職員については、県の評価制度をベースに人事評価をすでに開始しており、これを利用し、給与反映を行う予定である。教員については、現在、業績評価は行っておらず、一年の振り返りとして、自己点検評価を行っている。その項目を一部活用するなど方法やあり方を今後検討していく予定である。

（2）令和3年度予算（案）について

高木財務課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

〔主な質疑・意見等〕

- ・授業料減免は、今年度より国の新しい制度が始まり、ある程度新しい制度の減免実績がつかめていると思うが、今年度と来年度の予算額を比較すると大幅な増額になっているがこの増額要因は何か。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、授業料が納付できないなどの影響はあるのか。新制度の開始とコロナの影響が重なっているため、対応が難しいと思うが、従前と同様の学生支援ができていないか確認をお願いしたい。
→今年度予算については、当初の見込み額を記載しており、年度途中で補正予算として増額対応している。令和3年度予算は、補正予算を含めた実績を元に算出しているため、当初予算同士で比較すると大幅な増となっている。また、授業料の納付状況については、家計急変による奨学金や授業料減免の申請も多くなってきており、コロナによる影響だと考えられる。新しい支援制度については、頻りに制度の周知を行っており、制度の利用者数も増えている。今後も説明会等で制度の周知を積極的に行ってい

きたい。

(3) 学内規程等の改正について

山田総務課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

[主な質疑・意見等]

- ・教育方法についても将来構想委員会で審議するように変更することだが、教育方法と将来構想は結び付かないように思う。
→教育方法については、もともと全学教育構想委員会で審議されており、これを廃止し、教育を広い意味で捉え、大学全体としてより機能的に動けるように将来構想委員会に統合する改正である。
- ・規程等の軽微な修正は、審議を省略できるように変更することだが、学内的には合意されているのか。
→教育研究評議会でも説明し、合意済みである。

【報告事項】

- (1) 令和2年度第3四半期までの予算執行状況について
高木財務課長より、資料に基づき報告があった。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について
青木副理事長より、資料に基づき報告があった。
- (3) 令和2年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について
武田学生・就職支援課長および山田総務課長より、資料に基づき報告があった。
- (4) 令和3年度特別選抜試験結果および一般選抜志願状況等について
郡田教務課長より、資料に基づき報告があった。

【その他】

- (1) 令和3年度経営協議会の開催日程について
小椋経営企画課長より、資料に基づき説明があった。